

青少年赤十字活動紹介

青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターを開催しました

本年度も青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターを以下の日程のとおり開催しました。この研修は、青少年赤十字の教育プログラムのひとつで、児童・生徒一人ひとりのリーダーシップの養成を目的としています。

今年は小学生20名、中学生16名、高校生17名、合計53名が参加し、集団生活やフィールドワーク、グループ発表等を通じて多くのことを学びました。

参加者からは「トレセンはとても楽しく、自分の殻を破る絶好の機会だった。2泊3日も良いけど、もう少し長めの3泊くらい良かった」（中学生）、「今回参加することができて、本当に良かったと思っています。自分から意見を言えるようになったので、トレセンはとても役に立つと思いました」（高校生）といった声がありました。

無事に研修を終えることができ、参加児童・生徒の指導にあたっていただきました先生方に、心から感謝を申し上げます。

小中学生 期間●8月2日(火)～4日(木)、会場●埼玉県立加須げんきプラザ

高校生 期間●8月9日(火)～11日(木)、会場●埼玉県立長瀬げんきプラザ

グループの気持ちを
大きな声で叫びました
(フィールドワーク)



JRCの活動について発表中
(ホームルーム別発表・
模擬文化祭)



真剣な眼差しで
直接圧迫止血(救急法講義)



ホームルーム別発表の
内容を話し合いました

講習レポート

水上安全法救助員養成講習Ⅱ(海講習)を開催しました



溺者救助搬送

9月10日(土)、11日(日)にかけて神奈川県三浦市の三浦海岸において、日赤埼玉水上安全奉仕団の協力のもと、「水上安全法救助員養成講習Ⅱ」を開催しました。両日共に天候に恵まれ、15名の受講生は自然界の海という過酷な環境条件を体験しながら、海における水泳技術と救助用チューブやレスキューボードなどの救助用具の使用法を学び、また、海から救助者を搬送する方法など、種々の人命救助の知識と技術を身に付けました。

埼玉県支部ではプールでの水の事故防止、泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助及び応急手当技術を学ぶ「水上安全法救助員養成講習Ⅰ」を年2回開催(平成23年実績)し、また、海、河川及び湖沼での事故防止などを学ぶ「水上安全法救助員養成講習Ⅱ」は2年に一回近県の海岸で開催しています。養成講習Ⅱを受講するには講習Ⅰの資格取得者しか受講できません。今回の参加者からは「このような自然水域における救助技術を身に付けることができ大変有意義な2日間でした」と好評でした。今後も継続的に開催していく予定ですので積極的な参加をお待ちしております。



救助者への手信号